



逃げ遅れた子どもを救え!

訓練の現場



9月13日と14日、石狩消防署が大規模な火災救助訓練を実施しました。場所は本年3月に閉館した旧石狩市公民館。破壊などが許される解体前の建物での訓練は貴重で、ぜひ訓練をしたいと石狩消防署から依頼がありました。市としても35年間、大切に使用してきた旧公民館が最後の最後まで市民の役に立てるのなら、と快諾しました。

当日「小学校内で火災が発生し、子どもが逃げ遅れた」という設定で、それ以上の詳細は明かされない想定訓練が始まりました。近年は住宅の防火性能の向上などで火災現場が減る中、中核を担ったのは現場経験の少ない若手消防士たち。気温30度に迫る残暑の中、約12キロの空気呼吸器を背負い「助けて！」と声がする2階にいち早く向かいます。その間に別の隊員が建物図面で出火場所を確認するなど、各所で無線が飛び交い、緊迫感漂う40分間でした。

また、館内を本物の火災現場さながらに人工の煙を充満させ、視界ゼロの状態で見守る要救助者を探したり、防火扉を破壊する訓練も行いました。

この訓練に参加した小黒消防士は「初めて入る建物での消防活動の難しさを体験できました。今後も災害現場をイメージしながら、訓練に取り組みたい」と話します。若き消防士たちのまなざしは、市民を守るといふ使命感に燃え、輝いていました。

定期縛りなしのはずが、特別割引クーポンを利用したら定期購入に!?

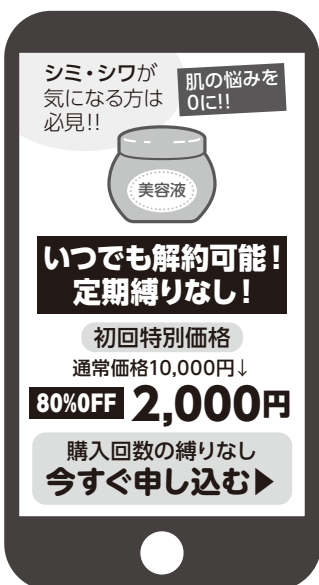
相談事例

スマートフォンで「定期縛りなし」「初回2,000円」という美容液の定期コースの広告を見て、試しに1回だけ購入しようと思い注文をした。商品が届き、定期コースを解約したいと販売業者に電話したところ、「4回の購入が条件」と説明された。

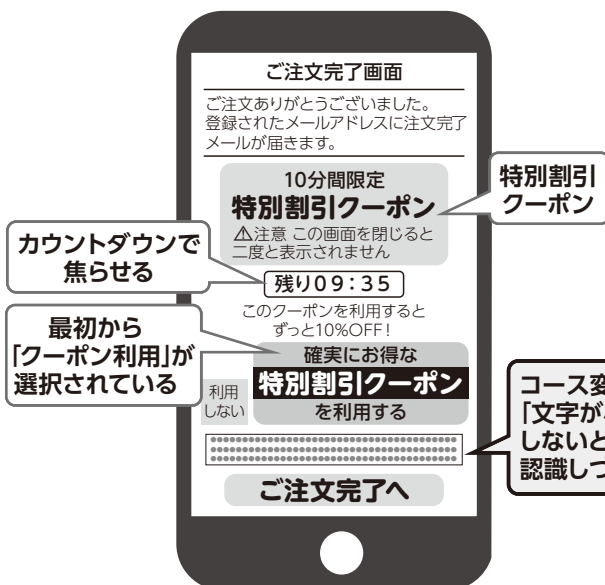
広告には「定期縛りなし」と書いてあったと伝えたが、「特別割引クーポンを『利用する』」のボタンを押してコースを変更しているため、あと4回(約4万円分)の購入が必須」と説明された。納得できないと伝えたが、「4回購入しないと解約できない」とのこと。注文完了直後に割引クーポンが表示され、利用した記憶はあるが、コースが変更されるとは思わなかった。

コース変更の経緯

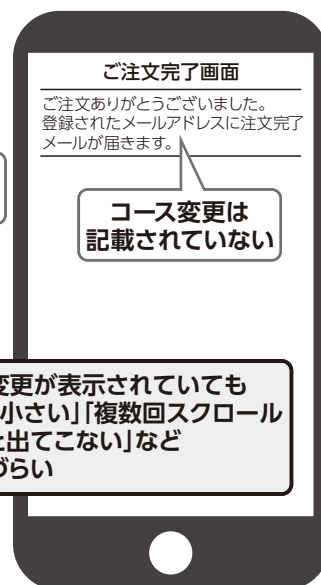
① 最初の販売サイト



② 「特別割引クーポン」の利用を勧める



③ 注文完了



注意するポイント

- 注文完了直後に「特別割引クーポン」の利用を勧められても、**最終確認画面の利用規約の内容をしっかりと確認**しましょう
- 支払う**総額はいくら**ですか? **定期購入が条件**になっていませんか?
定期購入が条件になっている場合、継続期間や購入回数が決められていませんか?
- 「**解約・返品できるか**」「**解約・返品できる条件**」(返品特約)などの**解約条件**と、**解約の際の連絡手段**を確認しましょう
- 「**最終確認画面**」をスクリーンショットで保存しましょう

一人で悩まず、ご相談を!

専門の資格を有する相談員が解決に向けた情報提供を行うほか、トラブル先の企業との間に入り、話をします。相談は無料で秘密厳守。

石狩市

消費生活センター ☎75・2282

〒市役所1階 平日10時~16時

土・日・祝日の相談は

消費者ホットライン **188** いや! 局番なし